

日本産科婦人科学会周産期登録データベースの事業参加について

当施設では、日本産科婦人科学会周産期委員会が行っている周産期登録事業に参加しています。

1. 登録事業への参加の目的

日本産科婦人科学会周産期登録データベースは、参加施設における母体情報、胎児情報および分娩周辺の関連医学情報を匿名化し保存蓄積しているわが国の唯一最大のデータベースです。当施設が地域周産期基幹病院としてこの登録事業に参加し、周産期学の発展に寄与することを目的としています。

2. 匿名化处理について

主な登録内容として母体搬送例、妊娠回数と分娩回数、分娩時母体年齢、不妊治療例、分娩胎位、分娩方法、帝王切開率などがあり、参加施設の全出産児の周産期情報を網羅しています。

データ収集・集計にあたっては、当施設からの送付時に母体氏名、ID番号、住所などの個人識別情報を削除します。学会側でもコード化し、これらの情報はそれ自体で患者さんを特定出来ないようにして登録します。

患者さんに関わる重要な情報ですので、情報の取扱いや安全管理については関連する取決めを遵守して行っています。

3. 情報の使われ方

登録参加施設は日本産科婦人科学会のホームページにおいて公開しています。登録参加施設となることを通じて、学会あるいは他の研究者から報告される新たな知見をもとに、今後の周産期医療に大きく貢献することが期待されています。